

2015年度(平成27)年度以前入学生対象

変更箇所	変更前	変更後	変更年月
【48ページ】 卒業研究提出要領	提出部数:2部	提出部数:3部	2015年7月
【247ページ】 留学期間中の演習履修	留学中の演習履修を認める留学:BIEプログラムのみ	留学中の演習履修を認める留学: 交換留学、私費留学(本学の私費留学制度)、BIEプログラム 申請手順: 留学前に演習指導教員の承認を得て、所定の書類を経済学部 教務課に提出する必要がある。帰国後の申請はできない。 留学中の課題等 月1回の「学修経過レポート」の他、演習指導教員の指示に従って課題を提出。	2015年9月
【70ページ・90ページ】 予備登録できる上限科目数	第1学期(前期)(通年科目含む):7科目 第2学期(後期):5科目	第1学期(前期)(通年科目含む):7科目 第2学期(後期):5科目 なお、4年次生には予備登録科目数の制限は設けない。	2016年3月
【91ページ】 受講制限を行う科目 (教養教育科目)		<2014年度以前入学生対象> 3年次以上も受講制限を行う科目について、以下の科目を追加 ラテン語Ⅰ ラテン語Ⅱ ギリシャ語Ⅰ ギリシャ語Ⅱ	2016年3月
【42ページ】 履修制限単位		履修制限に含まれない科目に、英語海外研修(2単位)を追加。	2016年4月
【71ページ・92ページ】 教養教育科目 開設科目		2016年度から新設される科目 英語海外研修(2単位) ※1年次生・2年次生のみ履修可、履修登録制限に含まない。	2016年4月
【104～127ページ】 経済学部専攻科目 開設科目		2016年度から廃止される科目(現代経済学科・国際経済学科とも) データ分析の技法Ⅰ データ分析の技法Ⅱ	2016年4月
【132ページ】 他学部科目受講	卒業要件単位認定:上限12単位まで経済学部専攻科目 (選択科目)として履修・単位認定が可能	卒業要件単位認定:上限6単位まで経済学部専攻科目(選択科目)として単位認定 が可能(それ以上の受講は可能だが卒業要件単位にはならない)。	2016年4月
	受講できる科目:下記の3科目 人的資源管理論(2単位)、会計監査論(2単位)、 初級商業簿記(2単位)	受講できる科目:下記の5科目(下線の2科目追加) 人的資源管理論(2単位)、会計監査論(2単位)、 初級商業簿記(2単位)、 <u>中級商業簿記(2単位)</u> 、 <u>工業簿記(2単位)</u>	2016年4月

変更箇所	変更前	変更後	変更年月
<p>【180～231ページ】 大学コンソーシアム京都単位互換制度 インターンシッププログラム 放送大学科目 諸課程科目 特別研修講座・各種講座</p> <p>【245～247ページ】 留学</p>		最新の情報は、ホームページ「履修要項」に掲載されている最新年度の『履修要項』参照。	2016年4月
<p>【235ページ】 復学願の添付書類</p>	理由書	疾病の場合は回復した旨の診断書	2016年4月
<p>【253～254ページ】 大学院経済学研究科 入学ガイド</p>		記載内容は毎年変更される。ホームページ「履修要項」に掲載されている最新年度の『履修要項』参照。	2016年4月
<p>【238ページ】 学校学生生徒旅客運賃割引証(学割証)の発行部数</p>	発行可能枚数:1年度に1人10枚	発行可能枚数:1年度に1人20枚	2016年4月
<p>【240～241ページ】 授業休止の取扱基準</p>		2016年度以降、一部変更。最新の基準はホームページに掲載。 http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/support/classinfo/disaster.html	2016年4月
<p>【249～250ページ】 保健管理センター利用について</p>		最新の情報は、ホームページに掲載。 http://www.ryukoku.ac.jp/hoken/index.php	2016年4月
<p>【251ページ】 深草・大宮学舎近隣 医療機関</p>		最新の情報は、ホームページに掲載。 http://www.ryukoku.ac.jp/hoken/link.html	2016年4月
<p>【41ページ】 先修制</p>	<学部専攻科目> 経済統計学、計量経済学の先修科目:統計学	<学部専攻科目> 左記の先修制を廃止する。	2017年3月
<p>【71ページ・92ページ】 教養教育科目 開設科目</p>		<2015年度入学生のみ> 人文科学系科目(選択科目)「大学論」(配当セメ:3セメ)を新設。なお、「教養教育科目特別講義(大学論)」修得者は受講できない。	2017年3月

変更箇所	変更前	変更後	変更年月
【104～127ページ】 経済学部専攻科目 開設科目		2017年度新設科目(現代経済学科・国際経済学科とも) 科目名:応用計量経済学 単位数:4単位 グレード:400 配当セメスター:第4セメスター 科目区分・種別:現代経済学科科目(経済情報プログラム) 単位認定:現代経済学科生は「学科科目」、国際経済学科生は「選択科目」として認定される。	2017年3月
	産業組織論 グレード:400 配当セメスター:第4セメスター	産業組織論 グレード:500 配当セメスター:第5セメスター	2017年3月
【132ページ】 他学部科目受講	卒業要件単位認定:上限6単位まで経済学部専攻科目(選択科目)として単位認定が可能(それ以上の受講は可能だが卒業要件単位にはならない)。 受講対象:3年次生以降(定員あり) 受講できる科目:下記の5科目(全て2単位科目) 人的資源管理論、会計監査論、初級商業簿記、 中級商業簿記、工業簿記	次の科目は経営学部専攻科目だが、経済学部生も受講することができる。試験等の諸連絡は、経営学部の掲示板等で行われる。 1. 科目名(単位数):人的資源管理論(2単位)、会計監査論(2単位)、 初級商業簿記(2単位)、中級商業簿記(2単位)、工業簿記(2単位) 受講対象:3年次生以上(定員あり) 単位認定:卒業要件として上記5科目のうち上限6単位まで経済学部専攻科目(選択科目)として単位認定が可能。それ以上の受講は可能だが、卒業要件単位にはならない。 2. 科目名(単位数):実践・マイ・キャリアデザイン(2単位) 受講対象:2年次生以上(定員あり) 単位認定:随意科目(卒業要件単位にはならない) 備考:履修登録制限単位数に含まれない	2017年3月
【168～170ページ】 スポーツサイエンスコース 「特別演習」の表記を変更	スポーツサイエンスコース演習Ⅰ スポーツサイエンスコース演習Ⅱ スポーツサイエンスコース演習Ⅲ	特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別演習Ⅲ	2017年3月
【168ページ】 スポーツサイエンスコース 開設科目および配当セメスター		グレードナンバーを追加。 HP掲載の「2017年度 スポーツサイエンスコース 開設科目および配当セメスター」のとおり。	2017年3月
【171ページ】 スポーツサイエンスコース 健康運動実践指導者養成校とは	「(講義17単位,実習16単位の合計33単位・受講料131,000円)を受講しなければなりません。」	「(講義16単位,実習17単位の合計33単位)を受講しなければなりません。」	2017年3月

変更箇所	変更前	変更後	変更年月
【42ページ】 履修登録制限単位数に含まれない科目		「英語コミュニケーションコースに所属する学生が履修する「海外研修」」の追加	2018年3月
【48、49ページ】 卒業研究(演習論文)作成要領		以下の文言を追加。 <ul style="list-style-type: none"> ・卒業論文は日本語で執筆するものとします。ただし、指導教員が認めた場合は英語で執筆することも可とします。 ・英語で執筆する場合は、英文校閲を含め、内容と形式について指導教員から十分な指導を受けてください。 <本文・目次・参考文献を記載する用紙の指定(英語)> A4サイズ、上質紙(白)、黒字印字【※感熱紙不可】 5,000words以上、片面印刷 上および左右の余白20mm、下余白25mm ページ番号は下中央(底より10mm程度の位置) ・英語の場合の文字数は5,000words以上です。どの言語で作成する場合でも、論文要旨は日本語で400字以内とします。	2018年3月
【65ページ】 初修外国語の再履修のうち2)に関する部分	不合格となった科目の再履修クラスを選択して履修してください。	不合格となった科目の再履修クラスあるいは正規クラスを選択して履修してください。	2018年3月
【104,109,112,117,120,125ページ】 経済学部専攻科目 開設科目	上級マクロ経済学	「上級マクロ経済学A」及び「上級マクロ経済学B」に変更。 単位:2単位 グレイド:500 セメスター:第5セメスター 備考:「上級マクロ経済学」単位修得者は履修不可	2018年3月
【104,109,112,117,120,125ページ】 経済学部専攻科目 開設科目	上級マイクロ経済学	「上級マイクロ経済学A」及び「上級マイクロ経済学B」に変更。 単位:2単位 グレイド:500 セメスター:第5セメスター 備考:「上級マイクロ経済学」単位修得者は履修不可	2018年3月
【105,110,113,118,121,126ページ】 経済学部専攻科目 開設科目	上級計量経済学	「上級計量経済学A」及び「上級計量経済学B」に変更。 単位:2単位 グレイド:500 セメスター:第5セメスター 備考:「上級計量経済学」単位修得者は履修不可	2018年3月
【156、164ページ】 英語コミュニケーションコース開設科目「Intercultural Discussion」及び「学部共通特別講義Ⅰ」に対する注記	受講上限人数を15名とし、受講資格を設定する。	受講上限人数、受講資格ともに設定しない。	2018年3月

変更箇所	変更前	変更後	変更年月
<p>【253ページ】 大学院経済学研究科入学ガイド 1の(1)経済学総合研究プログラム</p>	<p>本プログラムは、政府や国際機関および産業界において活躍するために必要な政策評価および経済分析能力を持つ人材を育成することを目的としています。基礎となるマクロ経済学、ミクロ経済学、計量経済学のコア科目をしっかり履修した上で、最先端のツールを用いて社会を分析します。</p>	<p>本プログラムでは、全員履修科目で経済学の実践的研究能力を修得するとともに、各自の研究テーマに基づき、「理論」、「政策・応用」、「民際」、「歴史・思想」、「国際」の5分野から主分野、副分野を選択し、体系的な科目履修を行います。</p>	<p>2018年3月</p>
<p>【253ページ】 大学院経済学研究科入学ガイド 1の(2)民際学研究プログラム</p>	<p>1994年から日本の大学で初めて「民際学研究コース」を設置し、新しい学問領域へ積極的なアプローチを行っています。「民際学」とは現代社会の諸問題を国家の枠組みを越えて形成された関係現象だと把握し、全く新しい概念のもとに体系的に研究していく学問です。具体的には民族問題、開発問題、環境問題、地域問題、ジェンダー問題、NGOなどを取り扱い、同時にそれらの諸問題の相関関係等についても共同研究を進めます。</p>	<p>経済学総合研究プログラムとの合併に伴い、削除。</p>	<p>2018年3月</p>